

JICA と大学との連携強化のあり方 (個人的見解)

国際協力機構 (JICA)
国内事業部 村上 正博

JICA は従来より大学と多くの事業で連携してこれを実施してきた。JICA の事業区分に照らして連携事業を具体的に上げてみると「研修員受入事業」での講師派遣、「技術プロジェクト事業」での専門家派遣、そして「草の根技術協力事業」の受託など多岐に亘っている。

そして今、JICA が実施する技術協力と大学との連携について、新たな視点に基づく連携のあり方が求められているが、その新たな視点とは何か次の事項に従い考察したい。

I. 時代の要請

1. ODA 大綱の改定
 - (1) 内外の援助関係者との連携
 - (2) 人材育成と開発計画
 - (3) 開発教育
2. 国立大学の独法化
3. 技術協力の質の向上
4. 国際協力に資する人材の養成

II. 新しい時代に相応しい連携強化の試み (帯広畜産大学との連携事例より)

1. 大学の中期目標・中期計画
2. 「個」の結びつきから「組織」連携へ
3. 人材育成への視点 (教育と調査・研究の融合)
4. 人材交流

1：技術協力プロジェクト（代表例※）

	担当部署	大学/大学院名	国名	プロジェクト名	協力形態
1	人間開発部	広島大学	バングラデシュ	小学校理数教科教育強化計画	業務実施契約
2		神戸大学	イエメン	タイズ州地域女子教育向上計画	業務実施契約
3		鳴門教育大学	アフガニスタン	教師教育強化プロジェクト	業務実施契約
4		鳴門教育大学	ラオス	理数教科教員養成プロジェクト	研修員受け入れ、短期専門家として現地活動を実施
5		愛知教育大学	カンボジア	高校理数教科教科書策定支援プロジェクト	業務実施契約
6		東海大学	ラオス	国立大学工学部情報化対応人材育成機能強化プロジェクト	個別契約方式で実施中の案件を法人契約に変更
7		長崎大学	大洋州	予防接種事業強化プロジェクト	業務委託契約
8		神戸大学	ラオス	国立大学経済経営学部支援プロジェクト	業務委託契約 個別契約方式で実施中の案件を法人契約に変更
9		東京学芸大学	モンゴル	子どもの発達を支援する指導法改善プロジェクト	業務実施契約
10		九州大学	インドネシア	ガジャマダ大学産学地連携総合計画プロジェクト	業務実施契約
11		熊本大学	インドネシア	スラバヤ工科大学情報技術高等人材育成計画プロジェクト	業務実施契約
12		長崎大学	ケニア	中央医学研究所（KEMRI）	連携融合事業
13		神戸大学	ソロモン	マラリア対策強化プロジェクト	業務実施契約
14		長崎大学	ベトナム	国立衛生疫学研究所能力強化計画プロジェクト	文部科学省「新興再興感染症研究拠点形成プログラム」によるNIHE-長崎共同ラボの設置
15			北大、東大、東工大、九大、京大、慶応大、早稲田大、豊橋科技大、芝浦工大、政策大、東海大	東南アジア10カ国	アセアン工学系高等教育ネットワークプロジェクト
16		岐阜大学、埼玉大学、長岡技術科学大学	東ティモール	東ティモール大学工学部支援プロジェクト	短期専門家、短期・長期研修員の受入
17	ベトナム事務所（人間開発部）	豊橋技術科学大学、鹿児島大学	ベトナム	ホーチミン工科大学地域連携機能強化プロジェクト	短期専門家の派遣、短期研修員の受入
18	人間開発部	日本工業大学	サウジアラビア	技術教育開発訓練センタープロジェクト	短期専門家の派遣、短期研修員の受入
19	ラオス事務所（人間開発部）	神戸大学	ラオス	ラオス国立大学経済経営学部支援プロジェクト	長期・短期専門家の派遣、短期研修員の受入
20	ラオス事務所（人間開発部）	東海大学、明治大学	ラオス	ラオス国立大学工学部情報化対応人材育成機能強化プロジェクト	長期・短期専門家の派遣、短期研修員の受入

1：技術協力プロジェクト（代表例※）

	担当部署	大学/大学院名	国名	プロジェクト名	協力形態
21	人間開発部	東京大学、立命館大学、金城学院大学、愛知県立大学、専修大学、明治学院大学、上智大学、東京外国語大学	インドネシア	インドネシア大学日本研究センター支援計画フェーズ3	長期・短期専門家の派遣、長期・短期研修員の受入
22		富山大学	ミャンマー	伝統医療プロジェクト	短期専門家の派遣
23		筑波大学	ホンジュラス	算数指導力向上フェーズ2	短期専門家の派遣
24		広島大学	ケニア	中等理数科教育強化計画フェーズ2	短期専門家の派遣、研修員受入
25		筑波大学	チリ	算数教育改善プロジェクト	国内研修（集団型）、連携融合事業
26		宮城教育大学	コロンビア	数学・自然科学教員養成システム強化	国内研修（集団型）、調査団派遣
27		東京大学	アフガニスタン	医学教育プロジェクト	国内研修（集団型）、短期専門家派遣、調査団派遣
28		日本医科大学	イラク	救急医療プロジェクト	国内研修（集団型）、調査団派遣
12	地球環境部	東京大学	中国	日中気象災害協力研究センタープロジェクト（在外主管・民活型）	実施支援
13		兵庫県立大学	マレーシア	ボルネオ生物多様性・生態系保全プログラム	実施支援
14	農村開発部	三重大学、香川大学	タイ	北部タイ省農業適正技術計画	実施協力、専門家派遣
15		東京大学	中南米地域	広域協力を通じた南米南部家畜衛生改善のための人材育成プロジェクト	国内支援委員会、実施協力
16		東京農業大学	エチオピア	エチオピア農民支援体制強化計画	実施協力、専門家派遣
17		日本大学	ウガンダ	家畜疾病対策計画	協力体制構築中（実施協議調査団参加予定）
18		昭和女子大学	ベトナム	ベトナム食品工業研究所強化計画	国内支援委員会
	経済開発部	筑波大学、東京農工大学	チュニジア	ボルジェセドリアテクノパーク運営管理向上	専門家派遣、研修受入
		東北大学	タイ	科学技術戦略分野における制度・人材開発（太陽光）	専門家派遣、研修受入
		立命館アジア太平洋大学、東海大学	ブルガリア	ビジネス人材育成センター強化	専門家派遣、研修受入
		九州大学	マラウイ	一村一品運動のための制度構築と人材育成	研修受入
19	中国事務所	東京大学	中華人民共和国	中日気象災害協力研究センタープロジェクト	業務実施契約
20	ウズベキスタン事務所（社会開発部）	名古屋大学	ウズベキスタン	企業活動の発展のための民事法令及び行政法令の改善プロジェクト	業務委託契約

（※大学関係者が関係するプロジェクトは多数にあがるため、このリストは一部のみを記載しています。より網羅的な資料は今後必要性を見極めながら適宜整備していくこととします。）

2: 研修 (集団型、個別タイプ、短期の訪問を除く)

	担当部署	研修形態の別 (課題別・地域別・国別)	案件名	大学/大学院名	学部/学科科名	分野課題	備考
1	JICA札幌		乾燥地における水資源・環境管理	室蘭工業大学		環境問題	
2	JICA札幌		畜産食品の危害リスク管理	酪農学園大学		保健・医療	
3	JICA札幌		母子保健人材育成	旭川医科大学		保健・医療	
4	JICA札幌		ナイジェリアHIV感染予防対策Ⅱ	北海道大学		保健・医療	
5	JICA札幌		鳥インフルエンザ防除対策ワークショップ	北海道大学		保健・医療	
6	JICA札幌		南東欧都市上下水道事業管理	北海道大学		環境問題	
7	JICA札幌		アフリカ地域森林エコツーリズムの推進による地域経済活性化	北海道大学		林業	
8	JICA帯広		地域流域環境管理ⅠⅠ	北海道大学		環境問題	
9	JICA帯広		畜産物の利用と保蔵技術	帯広畜産大学		畜産加工	
10	JICA帯広		土壌の診断と保全コース	帯広畜産大学		農業一般	
11	JICA帯広		低投入型農業生産管理システム	帯広畜産大学		農業機械	
12	JICA帯広		食の安全確保のための人畜共通感染症対策	帯広畜産大学	原虫病研究センター	家畜衛生	
13	JICA帯広		循環型酪農システム	帯広畜産大学		畜産	
14	JICA帯広		ゼロ・エミッション型農業・農村環境システム	帯広畜産大学		環境問題	
15	JICA帯広		女性指導者のための食・栄養改善ⅠⅠ (アフリカ)	帯広大谷短期大学		保健・医療	
16	JICA筑波		地震・耐震・防災工学	独立行政法人建築研究所		気象・地震	GRIPSとの修士号
	JICA筑波		持続的農村開発	筑波大学大学院	生命環境科学研究科	農業開発・農村開発	修士号取得
17	JICA東京		早期食道・胃・大腸癌の病理組織診断 (中南米)	東京医科歯科大学		保健・医療	本年度修了予定
18	JICA東京		幼児教育 (仏語圏アフリカ)	お茶の水女子大学		教育	本年度開始
19	JICA東京		アフガニスタン女性教員フェーズⅡ	お茶の水女子大学 (*5女子大学コンソーシアム)		教育	お茶の水女子大・津田塾女子大・東京女子大・日本女子大・奈良女子大
20	JICA東京		サウジアラビア女子教育	日本女子大学		教育	
21	JICA東京		地方 (行) 財政	明治大学		地方行政	
22	JICA東京		知識社会創造セミナー	一橋大学大学院国際企業戦略科		能力開発	
23	JICA東京		中央アジア援助活用能力向上	拓殖大学	国際開発学部	開発政策	業務委託契約を締結し、研修を委託している。
24	JICA東京		サウジアラビア「電気技術研修」	日本工業大		電気通信	
25	JICA東京		アフガニスタン医学教育	東京大学	医学教育国際センター	保健・医療	
26	JICA東京		医療技術者養成	国際医療福祉大学		保健・医療	
27	JICA東京		森林流域環境・水土保全技術	琉球大学	農学部	自然環境保全	
28	JICA東京		火山学・総合土砂災害対策	京都大学、東京工業大学、九州大学、農工大学	防災研究所、農学研究科、理学研究科他	水資源・防災	各大学にて2~3ヶ月個別研修を実施。
29	JICA横浜		国際保健医療指導者養成研修	東海大学	医学部	保健・医療	
30	JICA中部	課題別	産業技術教育ⅠⅠ	愛知教育大学		教育	
31	JICA中部	課題別	中等教育開発ⅠⅠ	名古屋大学大学院	教育発達科学研究科	教育	

2:研修(集団型、個別タイプ、短期の訪問を除く)

	担当部署	研修形態の別 (課題別・地域別・国別)	案件名	大学/大学院名	学部/学科名	分野課題	備考
32	JICA中部	課題別	参加型地域社会開発の理論と実践	日本福祉大学		総合地域開発計画	
33	JICA中部	課題別	参加型地域社会開発のプロジェクト計画・管理 I I	日本福祉大学		総合地域開発計画	
34	JICA中部	課題別	G I S (地理情報システム) による天然資源・農業生産物の管理	名古屋大学	農学国際協力研究センター	農業一般	
	JICA中部	課題別	地震・津波・火山観測システムの運用管理	名古屋大学		防災	
	JICA中部	国別	イラン法整備	名古屋大学	法制センター	法整備支援	
	JICA中部	国別	サウジアラビア学校教育改善	愛知教育大学		教育	
35	JICA大阪		地方自治体行政(参加型地域開発) I I	龍谷大学	経済学部	行政一般	
36	JICA大阪		水環境を主題とする環境教育 I I	滋賀大学	教育学部	環境問題	
37	JICA大阪		町並み保全の手法と運営	立命館大学	理工学部	文化	
38	JICA大阪		畜水産物生産現場における病原体検査技術	大阪府立大学大学院	農学生命科学研究科	家畜衛生	
39	JICA大阪		農業生産のための遺伝子操作技術とバイオインフォマティクスコース	大阪府立大学大学院	農学生命科学研究科	農業一般	
40	JICA大阪	国別研修	タンザニア地方行政改革プログラム	大阪大学大学院	法学研究科	行政一般	
41	JICA大阪		ワクチン品質管理技術	(財) 阪大微生物病研究会		保健・医療	
42	JICA兵庫		環境負荷化学物質の分析技術及びリスク評価	神戸大学	遺伝子実験センター	環境問題	一部対応
43	JICA兵庫		アグロバイオテクノロジー	神戸大学	農学部	科学	
44	JICA兵庫		植物保護のための総合防除	神戸大学	農学部	農業一般	
45	JICA兵庫		大都市地震災害軽減のための総合戦略	神戸大学	都市安全研究センター	水資源・防災	
46	JICA兵庫		貿易促進	神戸大学大学院	国際協力研究科	貿易	一部対応
			中・東欧地域海外貿易振興政策	神戸大学大学院	国際協力研究科	貿易	一部対応
			中国・貿易投資促進(東北部及び中西部)	神戸大学大学院	国際協力研究科	貿易	一部対応
			アフリカ環インド洋経済圏貿易投資促進	神戸大学大学院	国際協力研究科	貿易	一部対応
	JICA中国	地域別	社会的環境管理能力の形成と政策評価	広島大学大学院	国際協力研究科	環境管理	
	JICA中国	地域別	サブサハラ・アフリカ地域「平和構築のためのガバナンス能力強化」	広島大学	平和科学研究センター	平和構築	
	JICA中国	地域別	アフリカ「研究と対話による自立的な基礎教育開発の促進」	広島大学	教育開発国際協力研究センター	教育	
	JICA中国	地域別	南アフリカ共和国「理数科教員養成者研修」	広島大学 鳴門教育大学	教育開発国際協力研究センター 自然系	教育	
	JICA中国	国別	南アフリカ共和国「理数科教員養成者研修」	広島大学	教育開発国際協力研究センター	教育	
	JICA中国	国別	インドネシア「国際収支・国際経済マネジメント能力強化」	広島大学大学院	国際協力研究科	経済政策	
	JICA中国	国別	ケニア「中等理数科教育実技」	広島大学大学院	国際協力研究科	教育	
	JICA中国	国別	ケニア「INSET運営管理」	広島大学大学院	国際協力研究科	教育	
47	JICA中国	課題別	中等科学教育実技 I I	広島大学大学院	教育学研究科	教育	
48	JICA中国	課題別	乾燥地水資源の開発と環境評価 I I	鳥取大学	農学部	農業土木	

2: 研修 (集団型、個別タイプ、短期の訪問を除く)

	担当部署	研修形態の別 (課題別・地域別・国別)	案件名	大学/大学院名	学部/学科名	分野課題	備考
49	JICA九州	課題別	持続可能な発展のための職業環境保健マネジメント	産業医科大学		保健・医療	
50	JICA九州	課題別	歯学教育	九州大学大学院	歯学研究院	保健・医療	
51	JICA九州	課題別	熱帯医学研究 I I	長崎大学	熱帯医学研究所	保健・医療	修士号取得可
52	JICA九州	課題別	持続可能な沿岸漁業 II	鹿児島大学	水産学部	水産	
	JICA九州	国別	ウズベキスタン看護教育 (短期)	大分県立看護科学大学		保健・医療	
	JICA九州	国別	モロッコ地方保健行政	日本赤十字九州国際看護大学		保健・医療	
	JICA九州	国別	モロッコ地方村落母子保健ケア改善	日本赤十字九州国際看護大学		保健・医療	
	JICA九州	国別	ベトナム水産食品機械工学及び水産食品科学	鹿児島大学		水産	
53	JICA沖縄	国別	シリア国情報通信技術 (ネットワーク技術)	名桜大学	国際学部	情報・広報	
54	JICA沖縄	課題別	熱帯バイオマス利用	琉球大学	農学部	農業一般	
55	JICA沖縄	課題別	外科医のための泌尿器科臨床研修 I I	琉球大学	医学部	保健・医療	
56	JICA四国	課題別	女性の生活と地位向上に寄与するリーダーの養成	高知女子大学		開発計画一般	
57	JICA四国	課題別	資源培養のための栽培漁業	高知大学	海洋生物教育研究センター	水産	
58	JICA四国	地域特設	南太平洋初等中等算数・数学教育	鳴門教育大学	教員教育国際協力センター	教育	
59	JICA四国	国別特設	ラオス初等中等理数科教育	鳴門教育大学	教員教育国際協力センター	教育	
60	JICA四国	国別特設	アフガニスタン教師教育強化プロジェクト (STEP) 教科教授方	鳴門教育大学	教員教育国際協力センター	教育	
61	JICA四国	国別特設	ベトナム水環境技術能力向上プロジェクト・モニタリング及び分析技術	愛媛大学	農学部	環境問題	
60	JICA北陸	日系研修	スペイン語またはポルトガル語を母語とする学習者に対する日本語教育個別テーマ研究コース	金沢大学	留学生センター	教育	北陸支部案件を追加
61	JICA北陸	課題別	サブサハラ・アフリカ地域における学校運営改善	金沢大学	教育学部	教育	北陸支部案件を追加
62	JICA北陸	日墨交流計画	「工業デザイン」コース	富山大学	芸術文化学部	職業訓練	北陸支部案件を追加
63	JICA北陸	日墨交流計画	「コンピューター」コース	金沢工業大学		職業訓練	北陸支部案件を追加
64	JICA北陸	国別特設	母と子のすこやか支援プロジェクト	石川県立看護大学	看護学部	保健・医療	北陸支部案件を追加

3:草の根技術協力事業

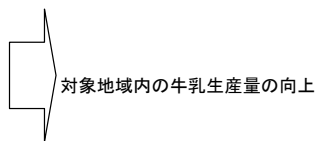
	担当部署	大学/大学院名	国名	プロジェクト名
1	アジア1部	昭和女子大学	ベトナム	(開発パートナー型) 民家文化財保存修復技術向上計画 (第4年次)
2		長崎大学	インドネシア	(開発パートナー型) ロンボックおよびスンパワ島におけるマラリア対策 (第4年次)
3	アジア2部	東京女子医科大学	PNG	(開発パートナー型) マラリア防圧に関わる総合的研究協力 (第4年次)
4	中南米部	鳥取大学	メキシコ	(開発パートナー型) 乾燥地域における農業および農村振興 (第4年次)
5	地球環境部	文教大学	タイ	(開発パートナー型) 南部における生ゴミを含むリサイクルシステム構築の試み (第4年次)
6	JICA東京	国際医療福祉大学	ベトナム	(パートナー型) ベトナムにおける地域リハビリテーション及び障害当事者エンパワメントを通じた身体障害者支援事業
7		拓殖大学	インドネシア	(支援型) 拓殖大学と姉妹校ダルマプルサダ大学とのパートナーシップによる都市貧困対策リーダー育成事業
8	JICA横浜	慶應義塾大学	メキシコ	メキシコ国チアパス州チェナロー区マヤビニック生産者協同組合に対するコーヒー技術支援計画
9	JICA中部	日本福祉大学	フィリピン	(パートナー型) レガスピ市における地域自治強化を通じた貧困層住民の生活基盤改善 (生活飲料用水) 支援プロジェクト
10	JICA大阪	京都大学大学院	ベトナム	(パートナー型) ベトナム中部・自然災害常襲地での暮らしと安全の向上支援
11		大阪大学大学院	メキシコ	(支援型) 先住民 (インディヘナ) に対する口唇口蓋裂医療援助
12		立命館大学	ベトナム	(ミニパト) 障害者教育支援プロジェクト
	JICA兵庫	兵庫県立大学	インドネシア	(地域提案型) 地域看護コーディネーターの育成
13	JICA北陸	金沢医科大学	中国	(パートナー型) 低所得農民層の失明実態究明と対策のための人材育成
14	JICA東北	山形大学	ミャンマー	(地域提案型) ミャンマー国稲作改善事業
15	JICA九州	長崎ウエスレヤン大学	フィジー、サモア、トンガ、ジャマイカ	(地域提案型) 島嶼における自立を目指した地域資源活用による人づくり・地域づくり
16	JICA九州	鹿児島大学	東チモール、フィジー	(地域提案型) 離島医療
17	JICA地球ひろば	新潟大学他	中国	(地域提案型) 新潟県・黒龍江省 嫩江流域荒漠化地区生態林建設技術協力事業
18	JICA地球ひろば	群馬大学医学部保健学科	ニカラグア	(地域提案型) 感染症対策技術向上
19	JICA地球ひろば	千葉大学教育学部	ベトナム	(地域提案型) 千葉とベトナムにおける特別支援教育分野での人材育成事業
20	JICA地球ひろば	自治医科大学看護学部	メキシコ	(支援型) 保健医療専門家とピアリーダーによる健康なライフスタイルづくり計画
21	JICA東北	岩手大学農学部附属家畜病院他	中国	(地域提案型) 乳牛における病気の診断・治療技術ならびに生産衛生技術の研修
22	JICA東北	北里大学水産学部、東京大学国際沿岸海洋研究センター他	ミャンマー	(地域提案型) 沿岸漁業における漁業管理技術の研修

資料 1 : 大学の知見の活用と協力隊派遣の複合

フィリピン酪農開発強化プロジェクト(青年海外協力隊チーム派遣)

1.プロジェクトの目標:

- ・ 農家の乳牛飼育技術の向上
- ・ 高品質乳生産方法を指導する酪農技術研究者の育成
- ・ 酪農の普及システムの確立



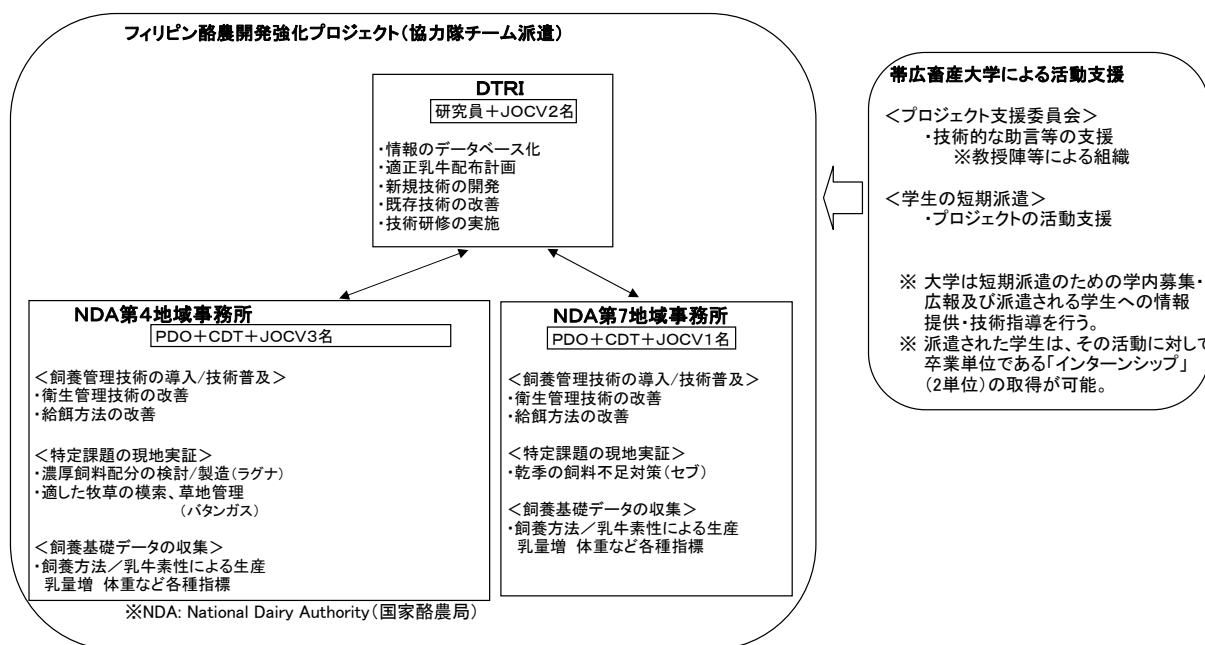
2.実施機関: 酪農研修研究所 (DTRI)、国家酪農局 (NDA)

3.対象地域: 酪農研修研究所 (DTRI)、第 4 地域南ルソン地区、第 7 地域セブ州

4.協力期間: 2003年9月から2008年8月まで (5年間)

- 5.協力内容: (1) 衛生管理技術の普及
 (2) 飼育管理、飼料改善への取り組み促進
 (3) 育種管理体制の構築

6.活動内容(帯広畜産大学との連携を含む):



7.隊員派遣状況

	活動地域	2003	2004	2005	2006	2007	2008	派遣期間等
シニア 家畜飼育	DTRI (ラグナ州)			←		→		2005.4~2007.4
JOCV 家畜飼育	DTRI (ラグナ州)				←	→		2006.6~2008.6
JOCV 獣医師	第 4 地域 (ラグナ州)				←	→		2006.3~2008.3
JOCV 家畜飼育	第 4 地域 (ラグナ州)			←		→		2005.7~2007.7
JOCV 家畜飼育	第 4 地域(バタン ガス州)			←		→		2005.11~2007.11
JOCV 家畜飼育	第 7 地域 (セブ島)	←	→			←	→	2003.7~2005.7 2006.6~2008.6
帯広畜産大学短期派遣				①10名	②4名	③6名		①2005.8.23~同9.12 一家畜飼育10名—ラグナ州、バタンガス州 ②2006.3.7~同3.2—獣医師2名+家畜飼育2名=計4名—ラグナ州 ③2006.8.15~同9.21—獣医師2名+家畜飼育4名=計6名—ラグナ州4名+バタンガス州2名

8.実施内容(経過)

プロジェクト(チーム派遣)		帯広畜産大学との連携	
年月	内容	年月	内容
2003.6-7	事前調査団派遣		
2003.7	隊員の配置開始(1名)		
2003.9	プロジェクト開始		
2005.4-11	隊員配置	2005.8	第1回短期派遣(10名)
2006.3-6	隊員配置	2006.3	第2回短期派遣(4名)
		2006.6	プロジェクト支援委員会発足
		2006.8	覚書締結
		2006.8	第3回短期派遣(6名)
2006.1	中間調査団派遣予定		

資料 2 : 連携協定・覚書締結状況

1. 協定締結済大学

	大学名	協定締結日
1	帯広畜産大学	05. 2. 10署名
2	北海道大学	05. 4. 12署名
3	広島大学	05. 12. 14署名
4	筑波大学	06. 12. 1署名
5	大阪大学	07. 2. 16署名

2. 覚書締結済大学

	大学名	覚書締結日
1	横浜市立大学	05. 9. 16署名
2	山口大学	06. 3. 27署名
3	四国5大学	06. 3. 16署名
4	九州大学	06. 11. 15署名

発表者プロフィール

氏 名 村上 正博 (むらかみ まさひろ)

現 職 国際協力機構国内事業部長

略歴

1974年	JICA 入団 (当時は国際協力事業団)
1978年－1982年	ボリビア事務所
1983年－1984年	移住事業部
1985年－1989年	ブラジル事務所
1990年－1998年	研修事業部、移住事業部、農業開発協力部、企画部
1999年－2002年	チリ事務所長
2004年－2006年	帯広国際センター所長
2007年－	国内事業部長

JICAと大学との連携強化のあり方（個人的見解）

村上 正博

国際協力機構国内事業部長

質疑応答

(榎原) ご報告大変ありがとうございました。JICAと大学との連携強化のあり方について、最近の政策変化、ODA、JICA、大学の動向を踏まえてご提言いただきました。本報告に対して何かご質問がありましたらお願いします。

(高間) 来年度の予算で、JICA側の大学に対する、グローバルな課題に対する研究協力の予算を概算要求しているというふうに聞きました。一方、文科省側では逆の立場の予算要求をなされているわけです。その辺の状況に非常に興味を持っているので、教えていただきたいと思います。

(村上) 確かに予算要求で出されています。恐らくこれは政策要求だと思っています。これは、どういう形の連携の予算になるのか、詳細についてはこれから検討されることかと思っています。ですから、申し訳ないのですが、この場では中身についてご説明できません。ただ、連携融合プロジェクトが、平成17年度から新規になりまして、平成19年度で3年目になりますでしょうか。その第2弾のような形になると私は思います。

恐らく合体の仕方はさまざまにあるのだと思います。平成15年にODA大綱が11年振りに改定された時からうねりが始まったというふうに私は思っています。従いまして、新しい予算を模索していくというこの流れはまだしばらく続くのだらうと思います。その模索しているところに、大学がどういう形で乗かっていくのか。そこが恐らく分かれ目ではないかなと個人的には思ったりしています。以上です。

(榎原) ほかに何かありますか。

(穴沢) 今のご説明と直接にはつながらないので、もし差し支えなければお教えいただきたいのですが、来年10月の新JICA誕生に向けて、JICAはもともと国内に幾つかセンターをお持ちなわけですが、JBICとJICAが一緒になりまして、そのセンターの役割といたしますか、業務はどのように変わっていくのでしょうか。今、検討の途上にあるかもしれませんが、差し支えのない範囲でお教えいただければありがたいと思います。

(村上) やはり大学においての評価のありようの変化と同じように、国内機関が果たさなければいけない役割もやはり変わってきています。それは国民参加型事業を取り込むことによって、広く国民の参加を要請しなければならない、この1点が増えています。NGOの参加とか、草の根事業といったものも随分増えています。

とすれば、各地方センターは、各地域の国際協力の拠点であるというのが、新しい御旗の立て方だと私は考えています。センターは地域の国際協力を学ぶ場としても、恐らくそれが理想だと、

私は個人的に思っています。先ほどもちょっとお話ししました、ODA大綱でも記されています開発教育ですね。JICAが蓄積した今までのいろいろな国際協力の実績とか知り得た情報などを広く国民に開示して、知の還元をせよというのも国の方から命じられています。従いまして、いわゆる青年海外協力隊からの帰国隊員が各小学校、中学校、高校を巡回して、その体験談を語るとか、そういったものが実績としてもものすごく増えています。ですから、冒頭に申し上げましたように、地域の国際協力の拠点になるべきだと私は思っています。

(槇原) 大変ありがとうございました。